

コニカミノルタ株式会社  
2017年3月期（2016年度）

# 決算説明会

常務執行役 畑野 誠司

2017年 5月11日

# 2016年度業績

【億円】		通期	対前年		除く為替影響		4Q	対前年		除く為替影響	
全社	売上高	9,626	△ 692	- 7%	227	+ 2%	2,629	△ 65	- 2%	11	+ 0%
	営業利益	501	△ 99	- 17%	97	+ 16%	157	△ 28	- 15%	△ 5	- 3%
	当期利益*	315	△ 4	- 1%	-	-	66	12	22%	-	-
情報機器	売上高	7,717	△ 605	- 7%	228	+ 3%	2,095	△ 66	- 3%	3	+ 0%
	営業利益	530	△ 172	- 25%	7	+ 1%	149	△ 45	- 23%	△ 23	- 12%
為替レート	USドル	108円	△ 12円	- 10%	-	-	114円	△ 2円	- 2%	-	-
	ユーロ	119円	△ 14円	- 10%	-	-	121円	△ 6円	- 5%	-	-

\* 当期利益：親会社の所有者に帰属する当期利益

- 全社通期業績は、円高影響を強く受け減収減益も、為替を除いた実質ベースでは増収増益。
- 売上高は、情報機器事業での円高影響、産業用材料・機器事業での販売減により減収。
- 営業利益は、特許関連収入78億円計上、計測機器での大口案件寄与。為替を除いて二桁増益、特許関連収入除いても増益確保。
  - ・ 情報機器事業は、ハイブリッド販売及びカラー中高速機重点販売により為替除いて増収増益。
- 全社4Q業績は、為替を除いて概ね前年並みの着地。

# 2016年度 セグメント別売上高・営業利益

【億円】

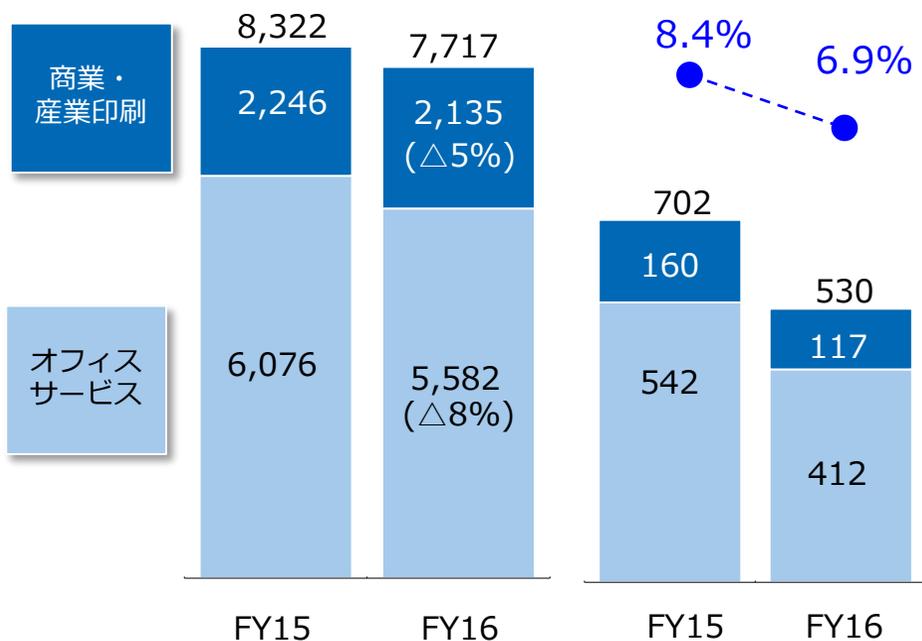
売上高	16年度 通期	15年度 通期	前年比	16年度 4Q	15年度 4Q	前年 同期比
情報機器	7,717	8,322	- 7%	2,095	2,161	- 3%
オフィスサービス	5,582	6,076	- 8%	1,509	1,570	- 4%
商業・産業印刷	2,135	2,246	- 5%	586	590	- 1%
ヘルスケア	899	899	+ 0%	266	276	- 4%
産業用材料・機器	894	1,060	- 16%	239	243	- 1%
産業用光学システム	478	525	- 9%	143	126	+ 14%
機能材料	416	535	- 22%	96	117	- 18%
コーポレート他	115	37	-	29	14	-
グループ全体	9,626	10,317	- 7%	2,629	2,694	- 2%

営業利益 (右側：営業利益率)	16年度 通期	15年度 通期	前年比	16年度 4Q	15年度 4Q	前年 同期比
情報機器	530 6.9%	702 8.4%	- 25%	149 7.1%	193 8.9%	- 23%
オフィスサービス	412 7.4%	542 8.9%	- 24%	119 7.9%	144 9.2%	- 18%
商業・産業印刷	117 5.5%	160 7.1%	- 27%	30 5.1%	49 8.3%	- 39%
ヘルスケア	29 3.2%	39 4.3%	- 27%	14 5.1%	16 5.9%	- 16%
産業用材料・機器	186 20.8%	171 16.1%	+ 9%	42 17.4%	38 15.5%	+ 10%
コーポレート他	△ 243 -	△ 311 -	-	△ 47 -	△ 62 -	-
グループ全体	501 5.2%	601 5.8%	- 17%	157 6.0%	185 6.9%	- 15%

- 売上高： 7,717億円 7%減収（為替影響：△833億円、除く為替：3%増収）
  - ハイブリッド販売、A3カラー中高速機シフト、PPカラー最上位機販売増により為替除けば増収。
- 営業利益： 530億円 25%減益（為替影響：△179億円、除く為替：1%増益）
  - 価格競争激化をカラー上位製品注力販売により吸収、為替を除けば実質増益。

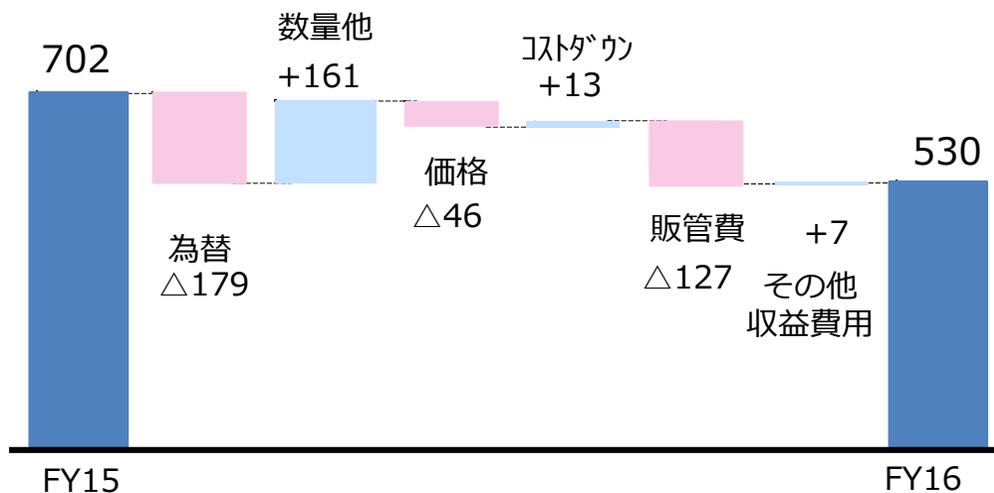
## 売上高/営業利益

左：売上高 右：営業利益 ●営業利益率 【億円】



## 営業利益 対前年増減分析

【億円】



# 情報機器事業： オフィスサービス分野の状況（第4四半期）

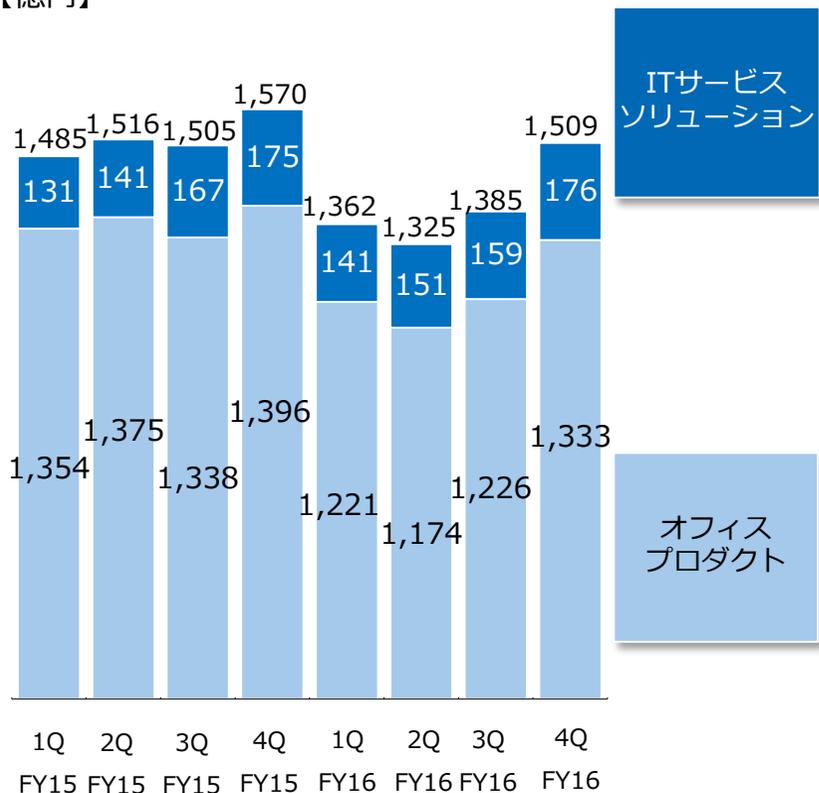
□ 売上高： 1,509億円 4%減収（為替影響：△48億円、除く為替：△1%減収）

□ 営業利益： 119億円 18%減益（為替影響：△19億円、除く為替：△5%減益）

- ▶ ハイブリッド販売を通してITサービスは堅調も、欧米での大口案件延伸・減少の影響受けA3カラー機の販売台数は前年並みに留まる。

売上構成四半期推移

【億円】



4Q 売上高

年間

4Q 概況

176億円

前年同期比 +1%  
除く為替+3%増収

- ✓ 米国及び欧州の一部を中心として、ハイブリッド販売が堅調。

628億円

前年比 +2%  
除く為替9%増収

1,333億円

前年同期比 △4%  
除く為替△1%減収

- ✓ A3カラー中高速機に注力するも他社新製品の影響を受ける。

4,954億円

前年比 △9%  
除く為替1%増収

- ✓ 中国ではA3カラー・モノクロ共に好調に推移。

OPS 242億円  
前年比△1%

865億円  
前年比+1%

GMA 85億円  
前年比+3%

292億円  
前年比△2%

- ✓ GMAでは、アジア 太平洋地域で新規案件を4件獲得。

# 情報機器事業： 商業・産業印刷分野の状況（第4四半期）

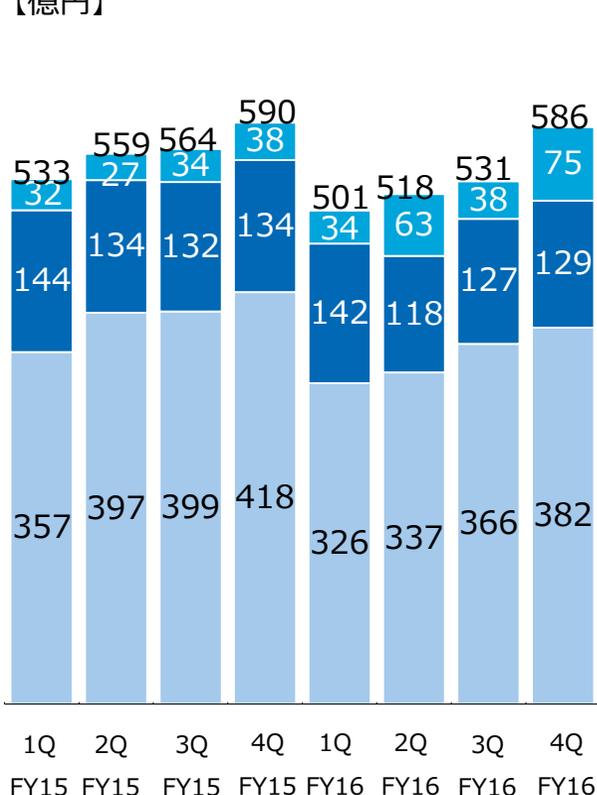
□ 売上高： 586億円 1%減収（為替影響： △22億円、除く為替： 3%増収）

□ 営業利益： 30億円 39%減益（為替影響： △3億円、除く為替： △33%減益）

➤ 産業印刷はMGI、KM-1の寄与もあり大きく伸長。LPP領域は新製品が好調に推移するも、MPP領域のカラー高速機は商品競争力低下で販売減。将来製品の開発費増もあり減益。

売上構成四半期推移

【億円】



産業印刷・  
インクジェット

MPM・  
プリントサービス

プロダクション  
プリント

4Q 売上高

年間

4Q 概況

75億円

前年同期比 +96%

除く為替 +99%増収

209億円

前年比 +61%

除く為替 +72%増収

✓ コンポーネントは中国向けが好調。

✓ MGI商材の販売体制整備。

✓ 「Accurio Jet KM-1」は日・独で新規受注。

129億円

前年同期比 △4%

除く為替 +3%増収

516億円

前年比 △5%

除く為替 +10%増収

✓ MPMは売上横ばいも、キンコースは売上増。

382億円

前年同期比 △9%

除く為替 △6%減収

1,411億円

前年比 △10%

除く為替 △0%減収

✓ LPP領域では「AccurioPress C2070シリーズ」が好調なスタート。

✓ 価格攻勢の影響もあり、ノンハード売上伸び悩む。

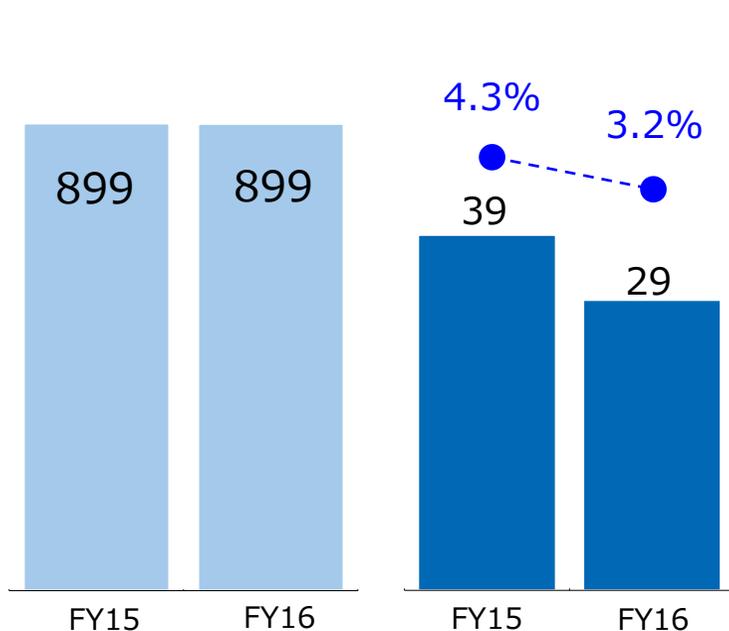
\*LPP: 低速PP機

MPP: 中速PP機

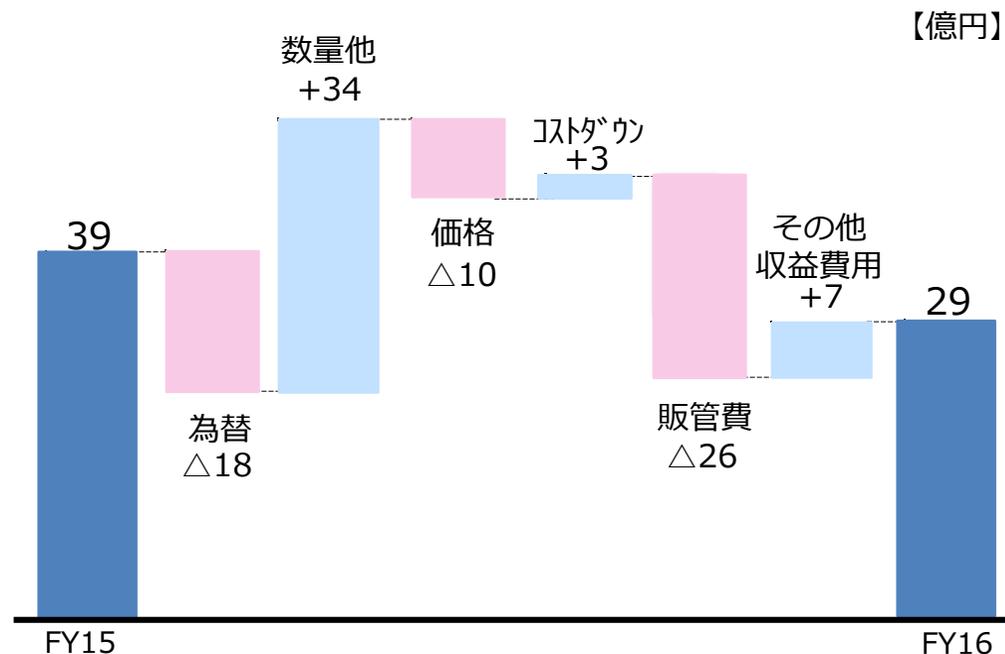
- 売上高： 899億円 前年並み（為替影響：△51億円、除く為替：6%増収）
- 営業利益： 29億円 27%減益（為替影響：△18億円、除く為替：19%増益）
- DR、超音波診断装置は販売堅調。米国向けは好調に推移、日本向けも堅調維持。  
買収したViztek社の販売力増強で費用増も、為替を除けば増益。

## 売上高/営業利益

左：売上高 右：営業利益 ●営業利益率 【億円】



## 営業利益 対前年増減分析

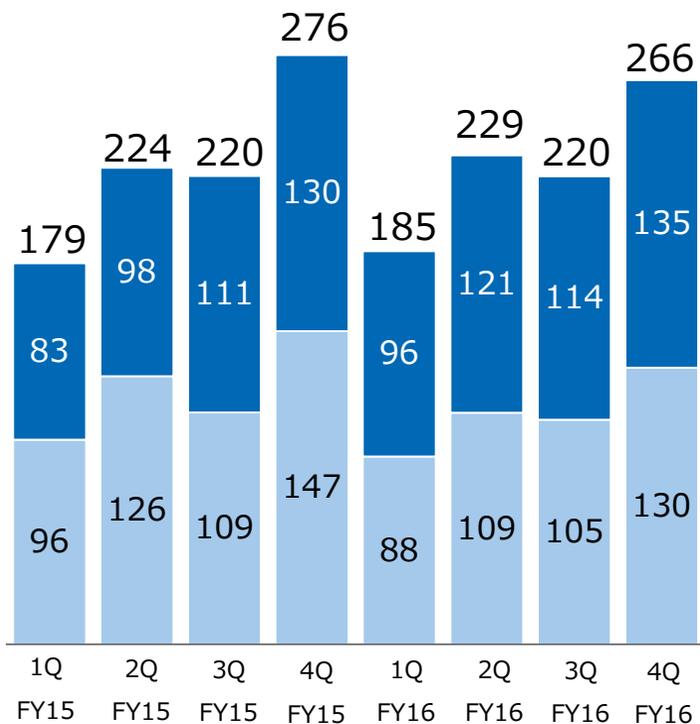


# ヘルスケア事業の状況（第4四半期）

- 売上高： 266億円 4%減収（為替影響：△3億円、除く為替：3%減収）
- 営業利益： 14億円 16%減益（為替影響：△2億円、除く為替：4%減益）

売上構成四半期推移

【億円】



4Q 売上高 (年間)

4Q概況

デジタル

135億円  
前年比+4%

466億円  
前年比+11%

- ✓ DRは国内外で販売堅調。米国ではX線装置メーカーとの協業で好調維持。
- ✓ 超音波診断装置は日本は好調維持。(3月販売台数は発売以来、最高)
- ✓ 医療ITでは、PACSが中小病院・クリニック向け機種が販売堅調。

アナログ・その他

130億円  
前年比△12%

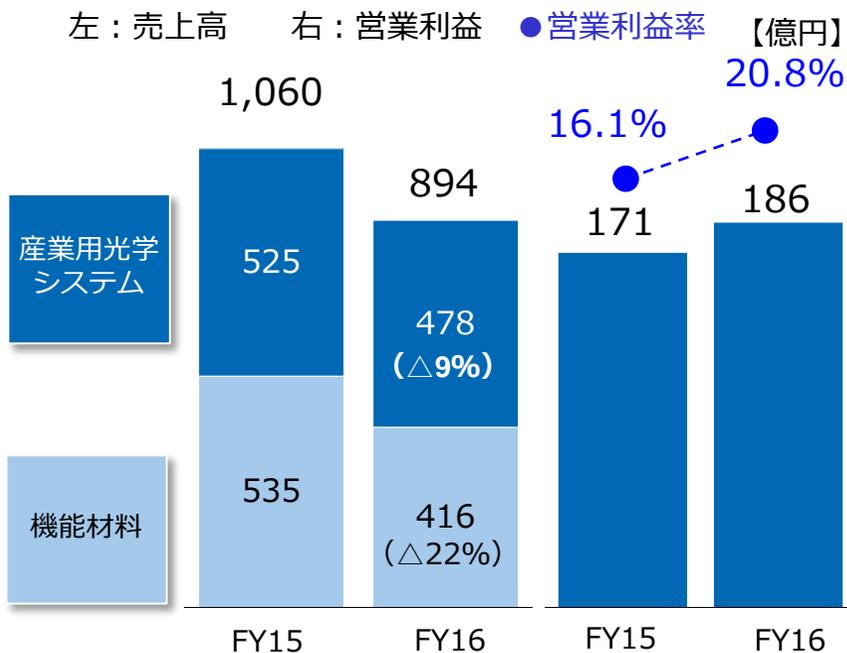
432億円  
前年比△10%

- ✓ フィルムを中心にアナログ製品は販売減。

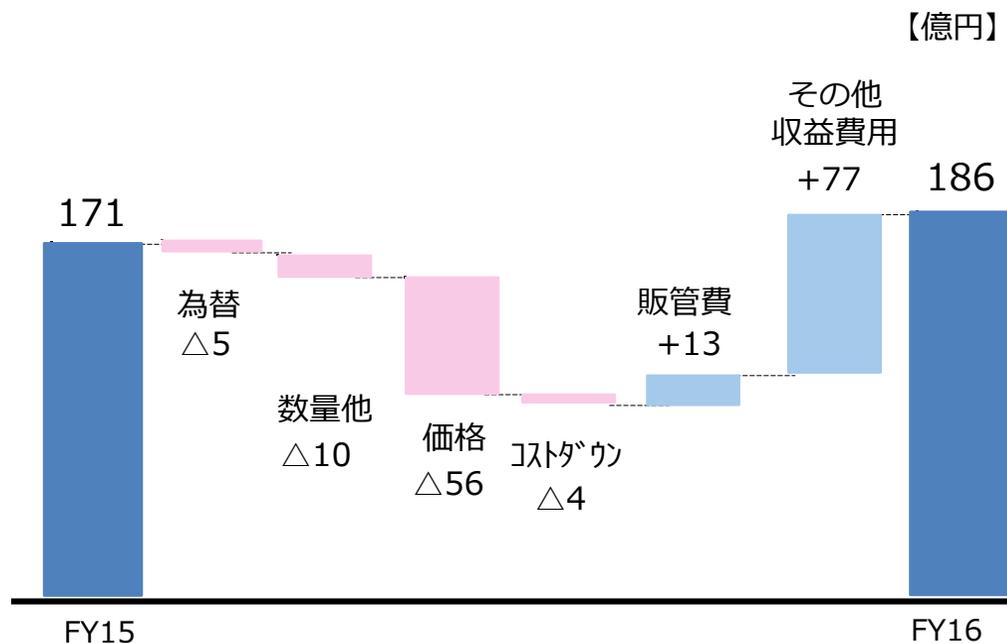
※ デジタル：X線撮影装置(DR,CR)、超音波診断装置、医療ITなど。  
アナログ・その他：フィルム、イメージャー、仕入れ商材、など。

- **売上高：** 894億円 16%減収（為替影響：△35億円、除く為替：12%減収）
  - 産業用光学システムは、計測機器の大口案件が寄与するも、産業・プロ用レンズ等の需要減で減収。
  - 機能材料は、価格圧力が厳しくなる中で高付加価値製品にシフトするも、販売数量減少し減収。
- **営業利益：** 186億円 9%増益（為替影響：△5億円、除く為替：12%増益）
  - 販売減少、価格低下の影響を受けるも、特許関連収入と計測機器の寄与で増益。

### 売上高/営業利益



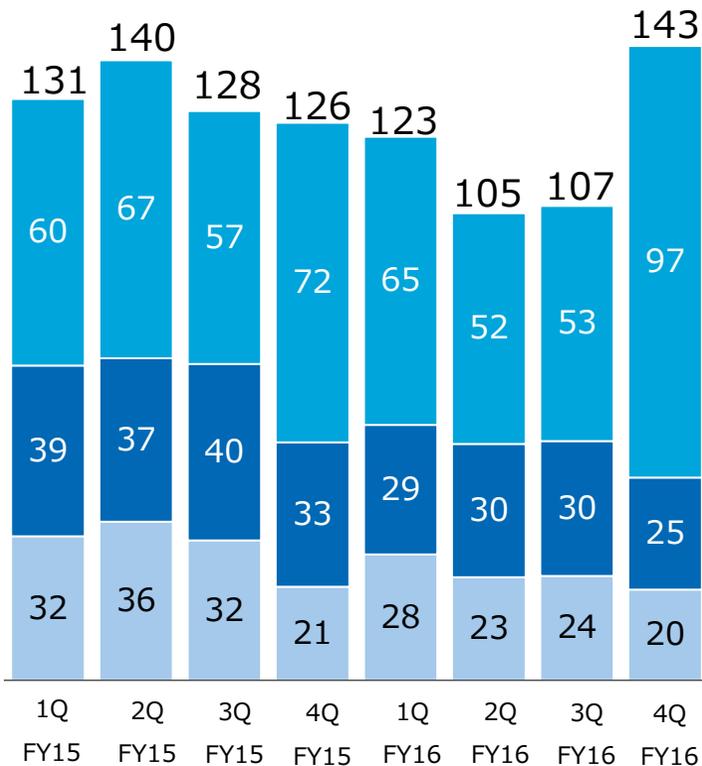
### 営業利益 対前年増減分析



□ 売上高： 143億円 14%増収（為替影響：△3億円、除く為替：16%増収）

売上構成四半期推移

【億円】



4Q 売上高(年間)

4Q概況

計測機器

97億円

前年比+35%

267億円

前年比+4%

- ✓ ディスプレイ測定装置が販売堅調。
- ✓ 大型案件の出荷開始で、収益に大きく貢献。

産業・プロ用レンズ

25億円

前年比△22%

115億円

前年比△22%

- ✓ 交換レンズ・シネマ用投影レンズともに需要減速により減収。

その他

20億円

前年比△3%

96億円

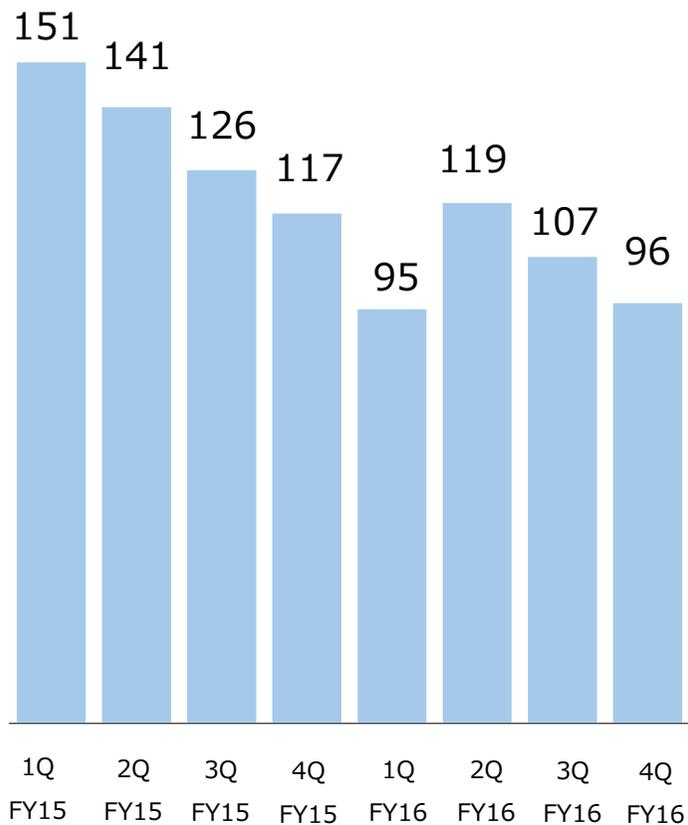
前年比△21%

- ✓ コンパクトカメラ市場縮小の影響で減収。

□ 売上高： 96億円 18%減収 （為替影響：△0億円）

売上構成四半期推移

【億円】



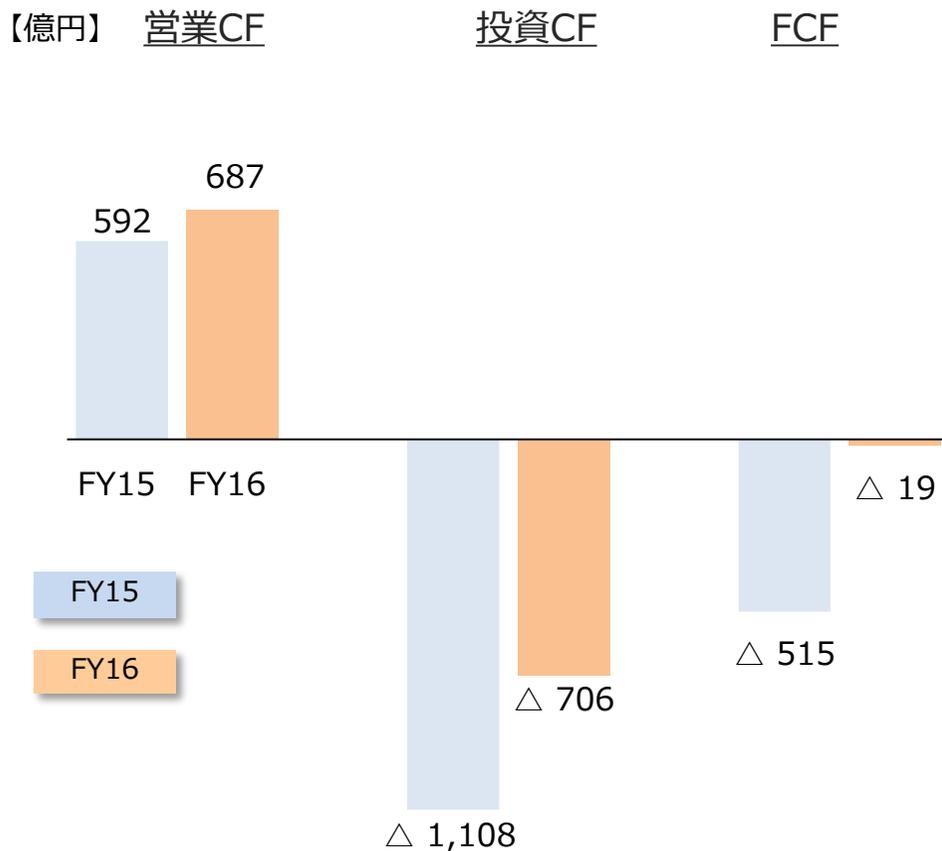
4Q 概況

## ■ FPD向けフィルム

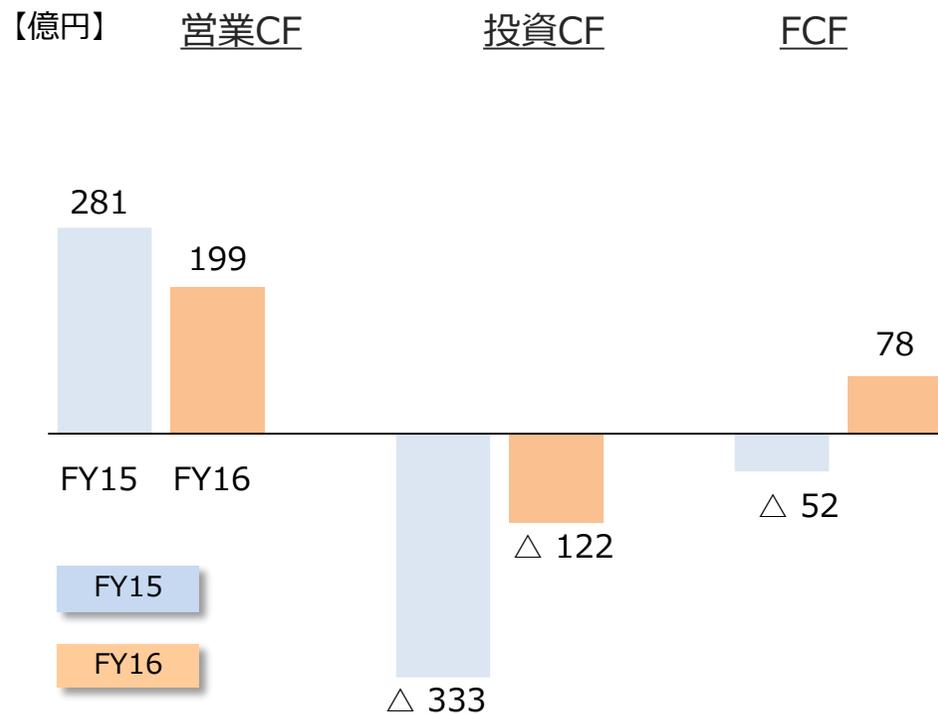
- ・ 大型パネル用
  - ✓ 新材料の台頭で競争激化し、保護用TACフィルムは販売減少。
  - ✓ 耐水型新VA-TACが大型液晶テレビに搭載拡大。  
IPS用パネルではZeroTACが堅調。
- ・ 中小型パネル用
  - ✓ 超薄膜フィルムが順調に伸長。

フリーキャッシュフロー（FCF）は前年から改善、1Qを除き2Q~4Qで黒字維持。  
 運転資本改善による営業CF増、投資減によりFCFは496億円(年間)/130億円(4Q)増加。

## 12カ月比較



## 4Q比較



# 2017年度業績見通し

# 2017年度業績見通し



KONICA MINOLTA

【億円】

	17年度 業績見通し	16年度 実績	前年 同期比
売上高	9,800	9,626	+ 2%
営業利益	460	501	- 8%
(営業利益率)	4.7%	5.2%	
税引前利益	445	493	- 10%
親会社の所有者に帰属する当期利益	300	315	- 5%
(親会社の所有者に帰属する当期利益率)	3.1%	3.3%	
EPS (円)	60.53	63.65	
ROE* (%)	5.8%	6.3%	
設備投資額	550	389	
減価償却費及び償却費	550	518	
研究開発費	790	733	
FCF (17年度予想は投融資を含めない)	450	△ 19	
*投融資(17年度の計画)	400	367	
為替レート [円] USD	105.00	108.38	
euro	115.00	118.79	

ROE : 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 資本金、資本剰余金、利益剰余金、自己株式の合計 (期首・期末平均)

# 2017年度業績見通し セグメント別売上高・営業利益

【億円】

売上高	17年度 予想	16年度 実績	前年 同期比
オフィス事業	5,450	5,582	- 2%
プロフェッショナルプリント事業	2,200	2,040	+ 8%
ヘルスケア事業	950	899	+ 6%
産業用材料・機器事業	1,100	1,016	+ 8%
産業用光学システム	350	293	+ 19%
材料・コンポーネット	750	722	+ 4%
新規事業・コーポレート・連調	100	88	-
全社合計	9,800	9,626	+ 2%

営業利益（右側：営業利益率）	17年度 予想		16年度 実績		前年 同期比
オフィス事業	450	8.3%	403	7.2%	+ 12%
プロフェッショナルプリント事業	120	5.5%	92	4.5%	+ 30%
ヘルスケア事業	55	5.8%	30	3.3%	+ 83%
産業用材料・機器事業	165	15.0%	219	21.6%	- 25%
新規事業・コーポレート・連調	△ 330		△ 243		-
全社合計	460	4.7%	501	5.2%	- 8%

\*16年度については新規開示セグメントに組替しています。

## 「収益力の大幅回復」と「トランスフォームの加速」

### 基盤事業

#### 高付加価値への集中

高付加価値販売、顧客満足度向上の更なる強化

#### グローバルコスト構造改革

1. 製造原価、市場品質ロス、リードタイムの削減
2. 成長・新規事業への人員シフト、IT活用生産性向上、合理化

### 成長事業

#### 売上高 1,000億円以上の実現

産業印刷、テキスタイル、超音波、外観検査、新規フィルム/素材

### 新規事業

#### IoTビジネスで社会課題解決・顧客価値創造

ワークプレイス ハブ、バイオヘルス(ガン診断)、産業光学領域



## オフィス

- ・ハイブリッド型販売の拡大による事業収益率・顧客継続率の向上
- ・カラー高セグメント機販売注力による平均売価向上とプリントボリューム拡大
- ・ワークプレイス ハブ事業立上げによるプラットフォーム型ビジネス本格展開

## プロフェッショナル プリント

- ・プロダクションプリントはLPP/MPPでの新製品投入による商品競争力強化
- ・産業印刷はKM-1・MGI社商材拡販と専任販売体制強化
- ・マーケティングサービスは大手ブランドオーナー顧客に向けた営業体制強化

## ヘルスケア

- ・DR/超音波/医療ITの強化による着実な事業貢献
- ・バイオヘルス事業の立上げ、SPFSの事業化

## 産業用光学 システム

- ・計測機器：大手顧客向けビジネス拡大、IoT大手顧客向け外観検査事業化
- ・状態監視：Mobotix社技術を融合させたプラットフォーム構築

## 材料・ コンポーネント

- ・機能材料：強み製品領域への集中による収益力強化
- ・産業用インクジェット：新製品（小液滴ヘッド、MEMSヘッド）で収益拡大

# Appendix

# 2016年度 業績要約



KONICA MINOLTA

【億円】

	16年度 通期	15年度 通期	前年 同期比	16年度 4Q	15年度 4Q	前年 同期比
売上高	9,626	10,317	- 7%	2,629	2,694	- 2%
売上総利益	4,599	4,955	- 7%	1,209	1,286	- 6%
(売上総利益率)	47.8%	48.0%	-	46.0%	47.7%	-
営業利益	501	601	- 17%	157	185	- 15%
(営業利益率)	5.2%	5.8%	-	6.0%	6.9%	-
税引前利益	493	580	- 15%	152	175	- 13%
(税引前利益率)	5.1%	5.6%	-	5.8%	6.5%	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	315	320	- 1%	66	55	+ 21%
(親会社の所有者に帰属する当期利益率)	3.3%	3.1%	-	2.5%	2.0%	-
E P S (円)	63.65	64.39		13.38	11.06	
設備投資額	389	526		114	174	
減価償却費及び償却費	518	513		127	139	
研究開発費	733	763		198	195	
FCF	△ 19	△ 515		78	△ 52	
投融資	367	682		3	166	
為替レート [円]						
USD	108.38	120.14	△ 11.76	113.64	115.48	△ 1.84
euro	118.79	132.58	△ 13.79	121.08	127.23	△ 6.15

【億円】

前年同期比較 (FY16年度 vs. FY15年度)		情報機器	ヘルスケア	産業用 材料・機器	合計
<b>【要因】</b>					
為替影響	△ 179	△ 18	△ 5	△ 196	
価格変動	△ 46	△ 10	△ 56	△ 113	
数量増減他	161	34	△ 10	233	
コストダウン	13	3	△ 4	12	
経費増減	△ 127	△ 26	13	△ 159	
その他 収益費用	7	7	77	123	
<b>【営業利益】</b>					
増減額（前年同期比）	△ 172	△ 10	15	△ 99	
前年同期比較 (FY16/4Q vs. FY15/4Q)		情報機器	ヘルスケア	産業用 材料・機器	合計
<b>【要因】</b>					
為替影響	△ 22	△ 2	△ 0	△ 23	
価格変動	△ 21	△ 3	△ 15	△ 39	
数量増減他	△ 18	3	10	2	
コストダウン	7	1	△ 1	7	
経費増減	△ 19	△ 3	8	△ 12	
その他 収益費用	29	2	2	37	
<b>【営業利益】</b>					
増減額（前年同期比）	△ 45	△ 3	4	△ 28	

# 販売管理費・その他の収益・費用及び金融収支明細

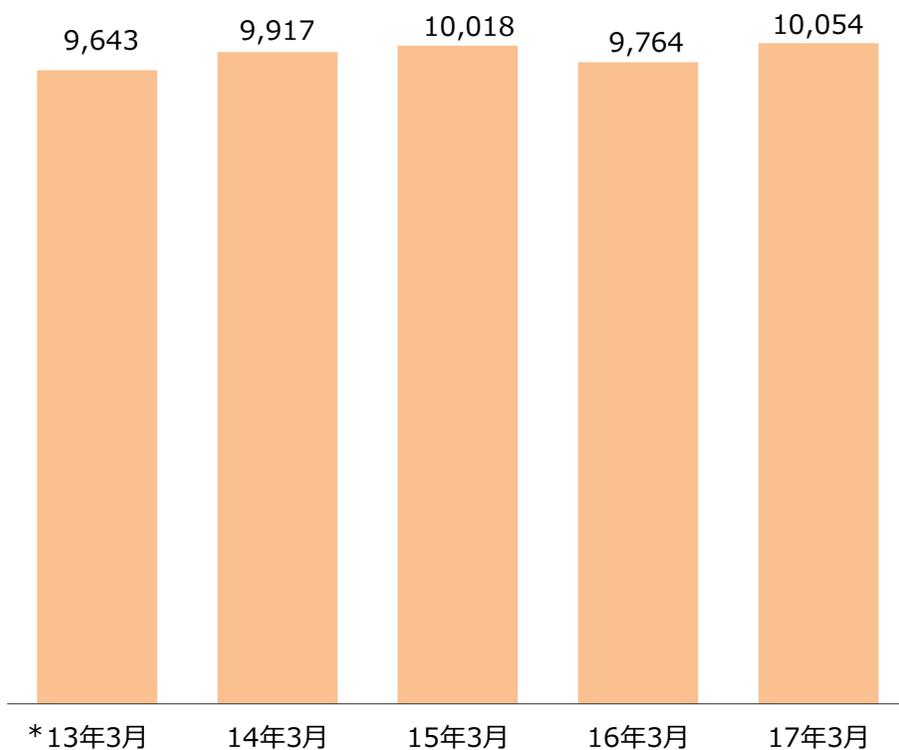


KONICA MINOLTA

	【億円】					
	16年度 通期	15年度 通期	前年 同期比	16年度 4Q	15年度 4Q	前年 同期比
販売管理費						
販売変動費	468	487	△ 19	120	118	1
研究開発費	733	763	△ 30	198	195	3
人件費	1,921	1,973	△ 52	498	492	6
その他	1,045	1,076	△ 31	245	266	△ 21
販売管理費 計	4,166	4,299	△ 133	1,060	1,072	△ 11
	*為替影響額：△292億円 (除く為替 +159億円)			△23億円 (除く為替 +12億円)		
その他の収益						
有形固定資産売却益	10	42	△ 31	8	3	5
特許関連収入	78	-	78	-	-	-
その他収益	53	36	17	28	15	13
その他の収益 計	141	78	64	36	18	18
その他の費用						
有形固定資産除売却損	10	18	△ 8	4	7	△ 3
固定資産減損損失	4	1	3	3	0	3
退職特別加算金	2	29	△ 28	-	4	△ 4
その他費用	58	86	△ 28	21	36	△ 16
その他の費用 計	73	133	△ 60	28	47	△ 19
金融収支						
受取利息・受取配当金-支払利息	△ 2	△ 3	2	△ 1	△ 2	1
為替差損益	△ 0	△ 17	16	△ 2	△ 9	8
その他	△ 5	△ 0	△ 5	△ 3	2	△ 5
金融収支 計	△ 7	△ 20	13	△ 5	△ 10	4

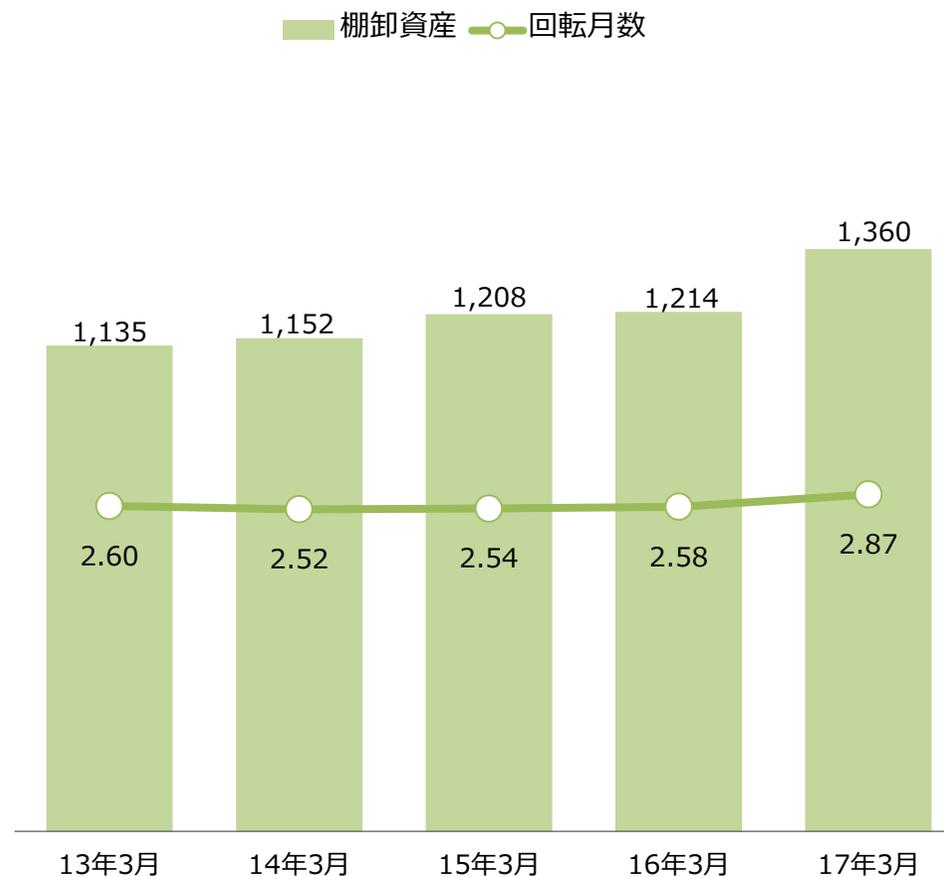
## 資産合計（総資産）

【億円】



## 棚卸資産・回転月数

【億円】

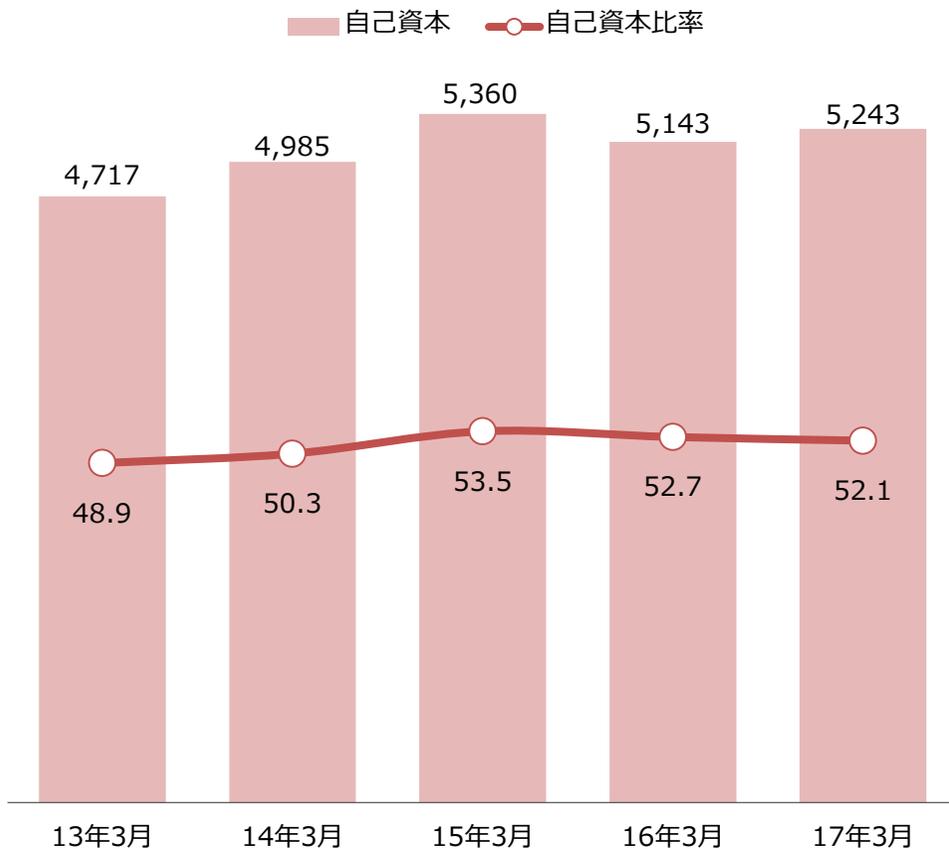


\* 13年3月=13年4月1日

\* 棚卸資産回転月数 = (当期末棚卸資産残高) / (直近3カ月の平均売上原価)  
 \* 13年3月/14年3月の回転月は日本会計基準

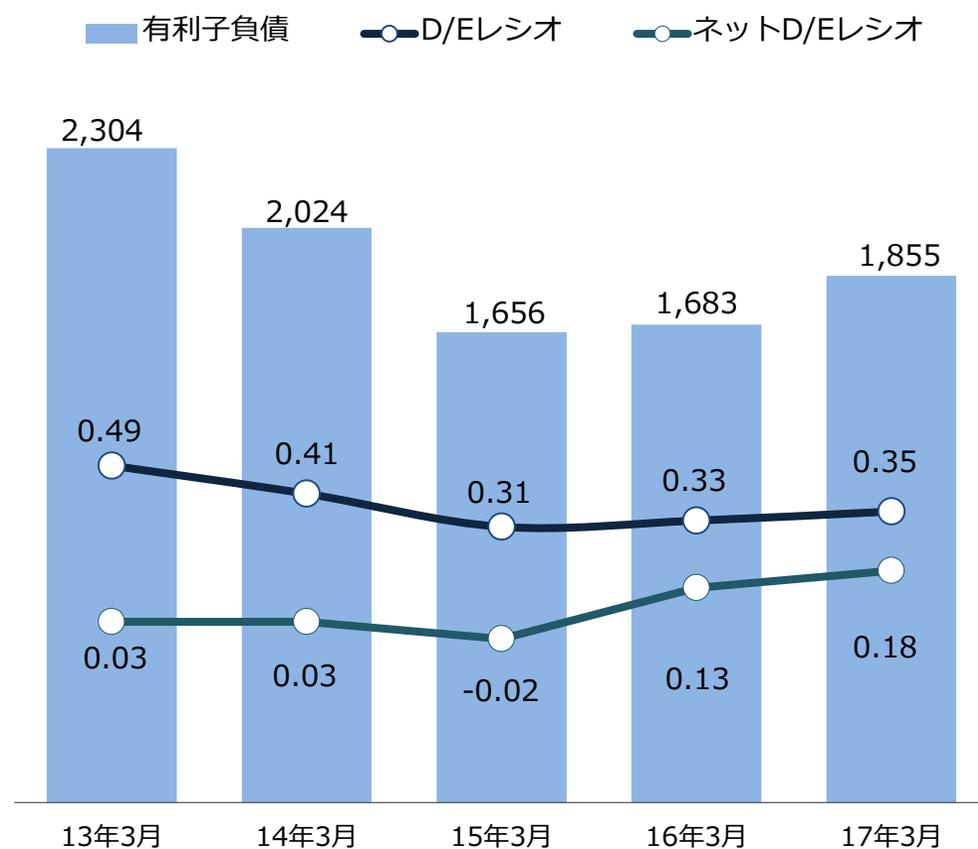
## 自己資本・自己資本比率

【億円】



## 有利子負債・D/Eレシオ

【億円】



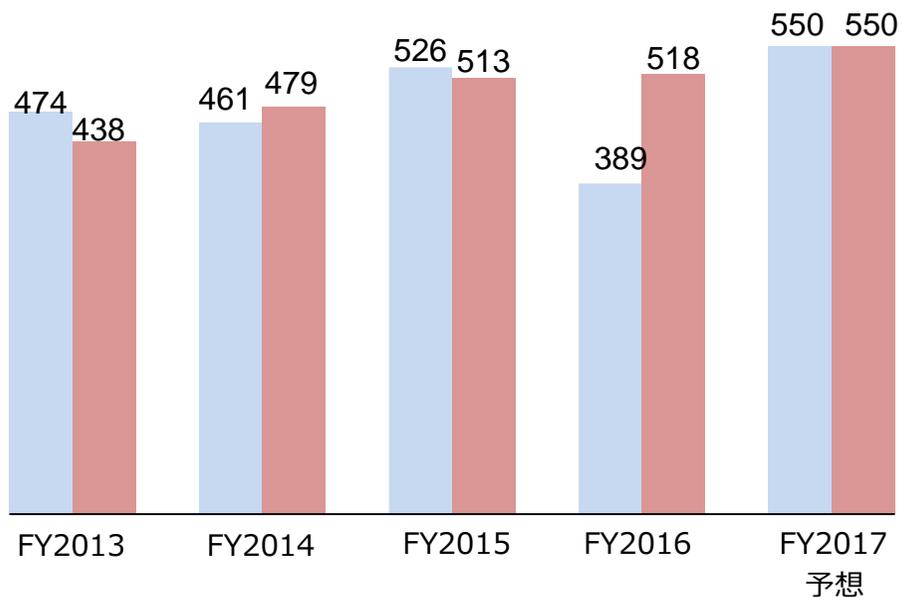
自己資本=親会社の所有者に帰属する持分 自己資本比率=親会社の所有者に帰属する持分/総資本

\* 13年3月=13年4月1日

## 設備投資・減価償却費及び償却費

【億円】

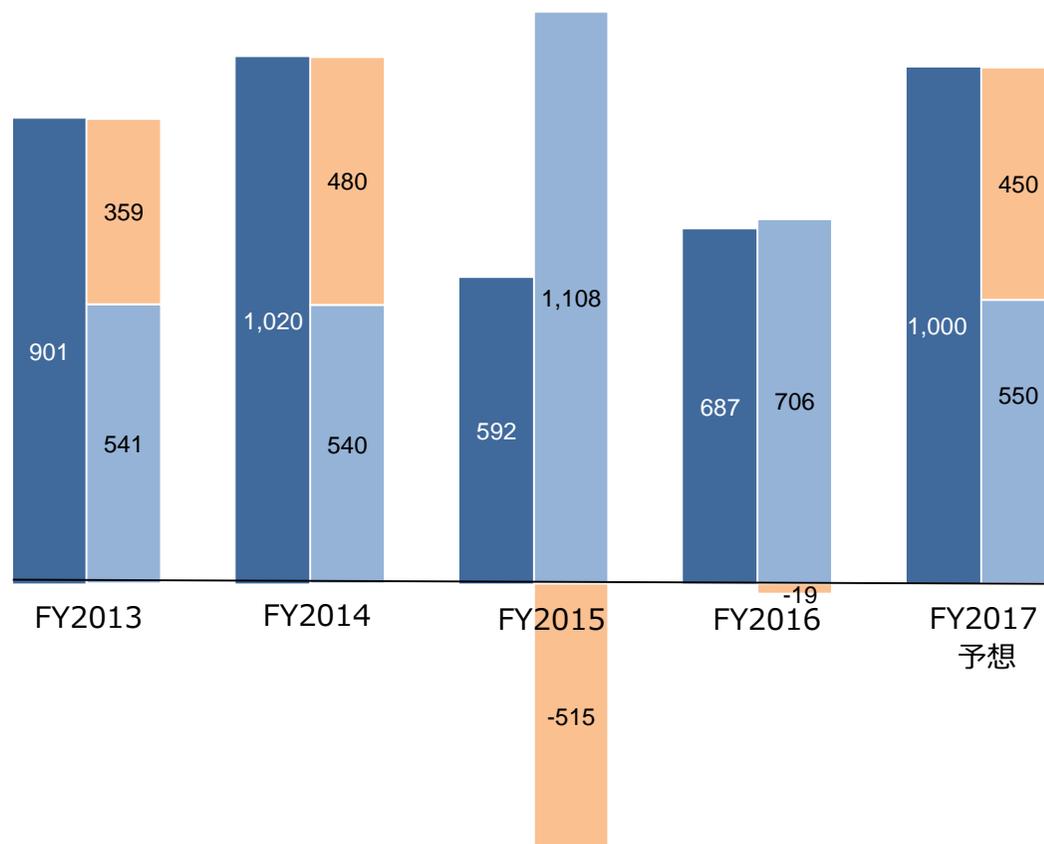
■ 設備投資 ■ 減価償却費及び償却費



## フリーキャッシュフロー

【億円】

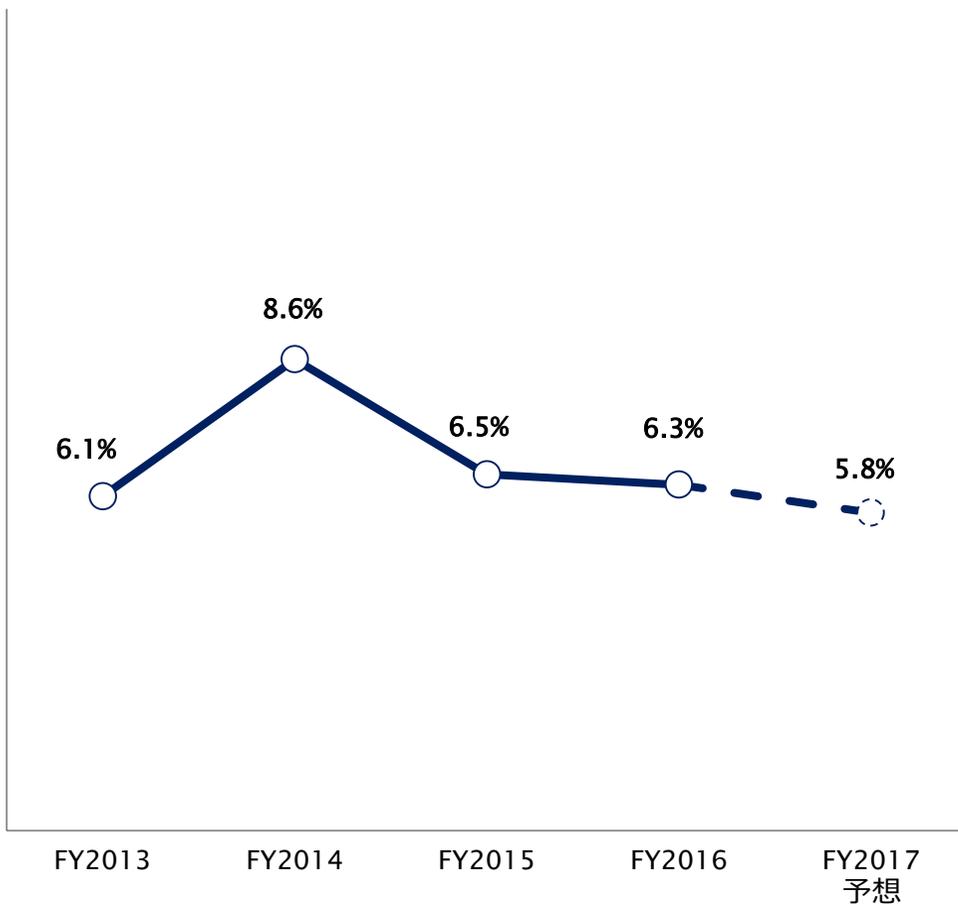
■ 営業キャッシュフロー ■ 投資キャッシュフロー ■ フリーキャッシュフロー



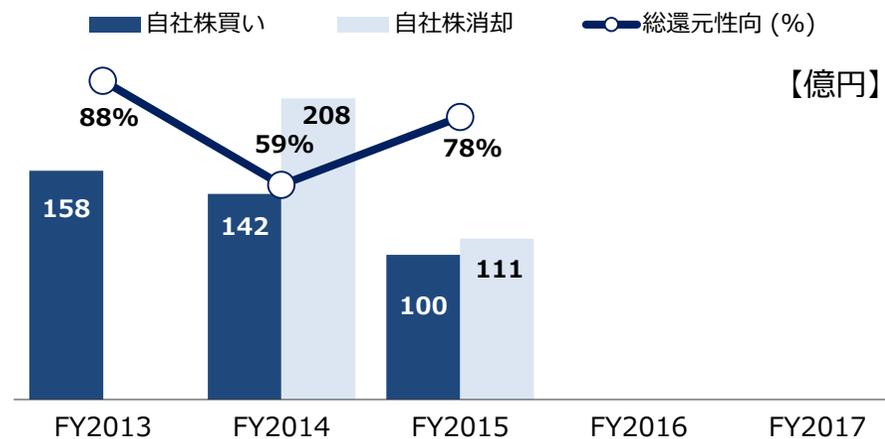
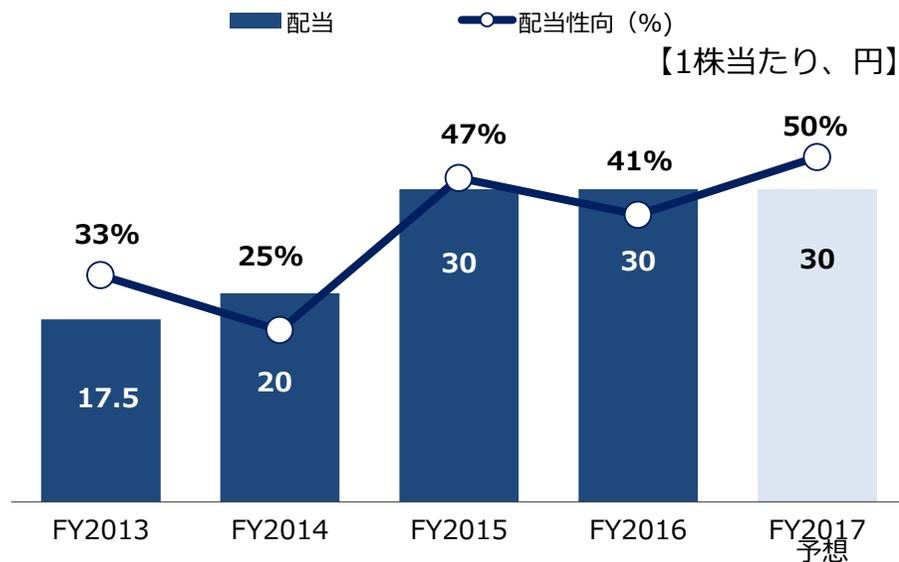
\*FCF 17年度予想は投融資を含めない

## ROE

ROE：親会社の所有者に帰属する当期利益／資本金、資本剰余金、利益剰余金、自己株式の合計（期首・期末平均）

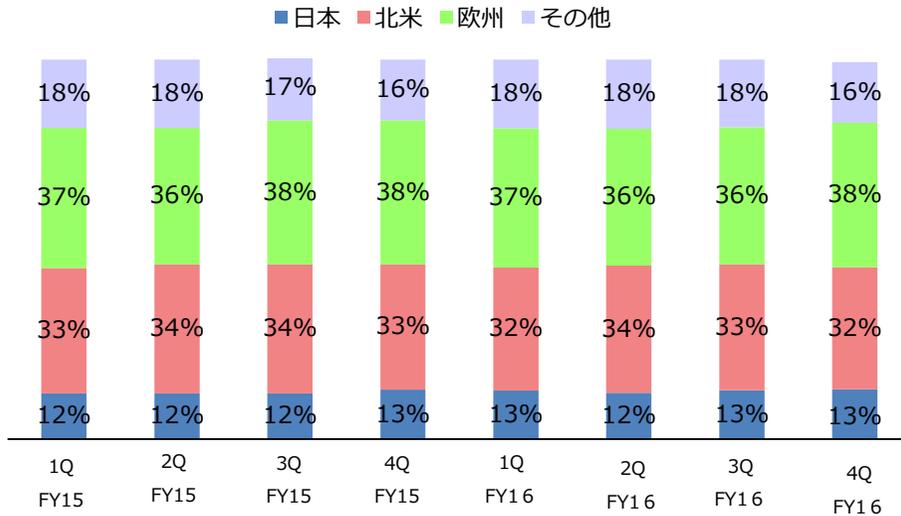


## 配当・配当性向・自社株買い

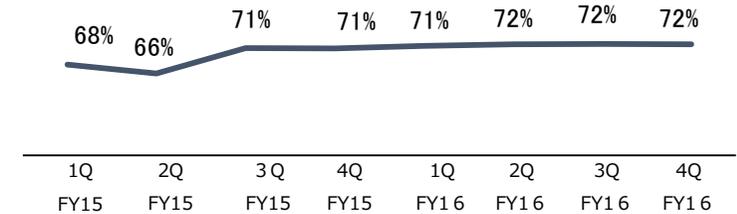


# 情報機器事業：販売状況（四半期推移）

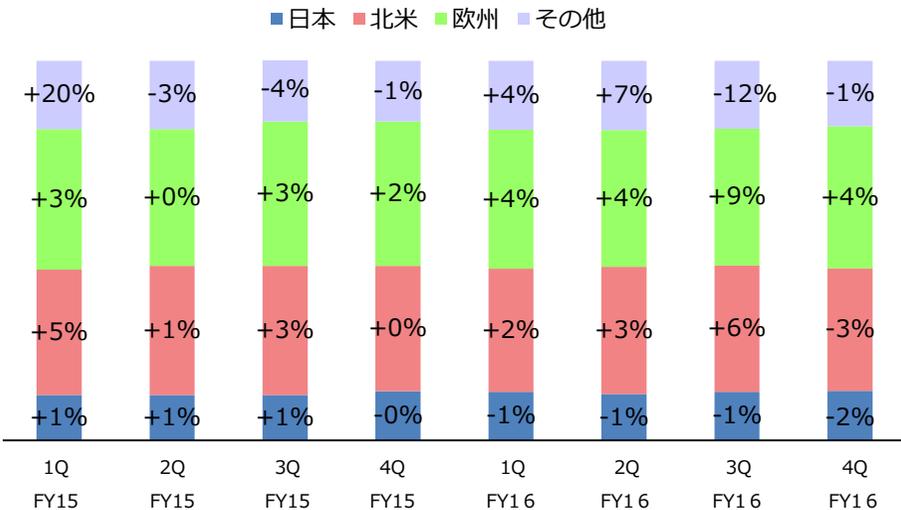
## ■ 地域別売上高構成比（円貨ベース）



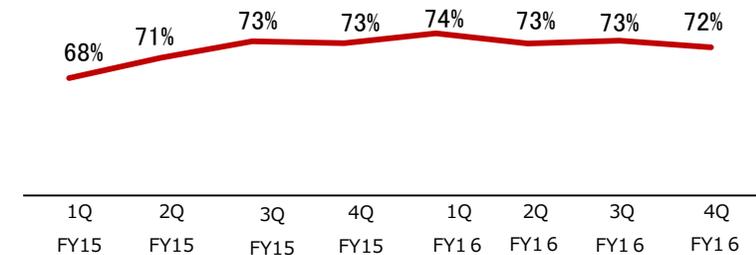
## ■ ハード売上に占めるカラー比率（オフィス）



## ■ 地域別売上高増減（為替除く）

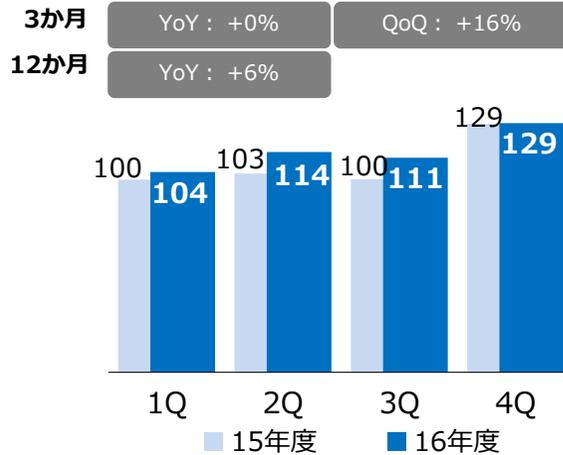


## ■ ハード売上に占めるカラー比率（PP）

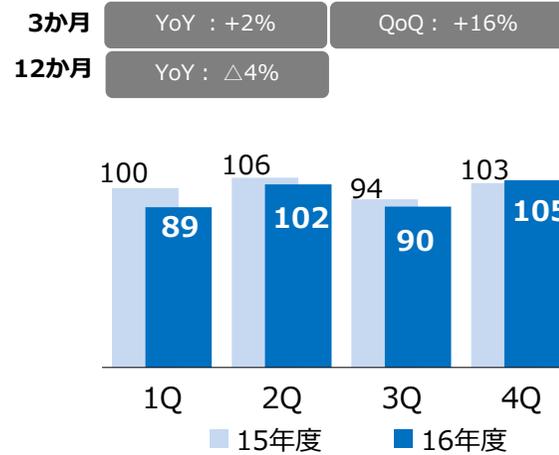


# 情報機器事業：主要製品販売状況（四半期推移）

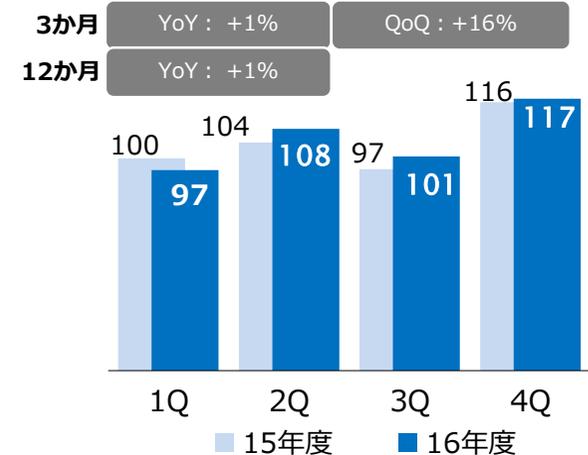
■ A3カラーMFP 販売台数\*



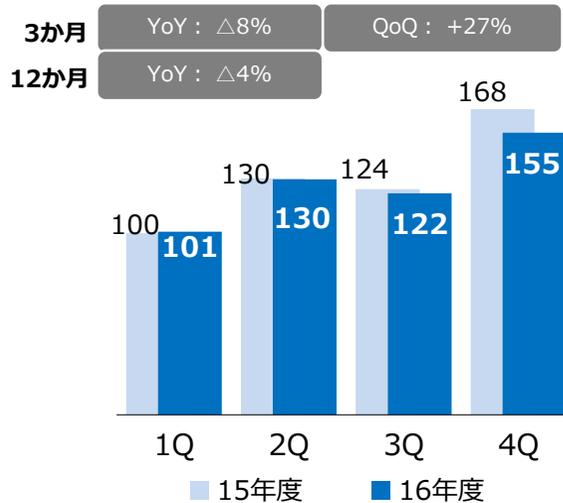
■ A3モノクロMFP販売台数



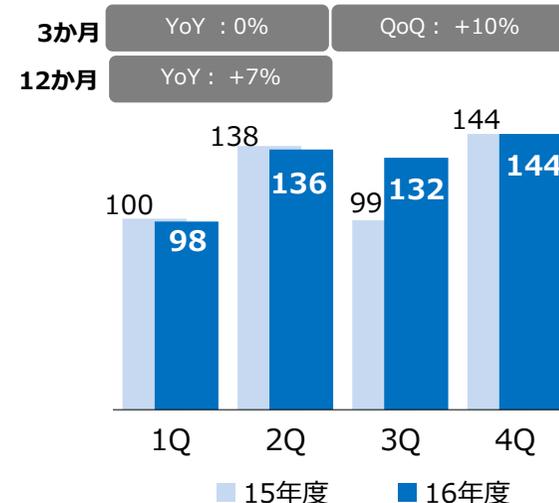
■ A3MFPトータル 販売台数\*



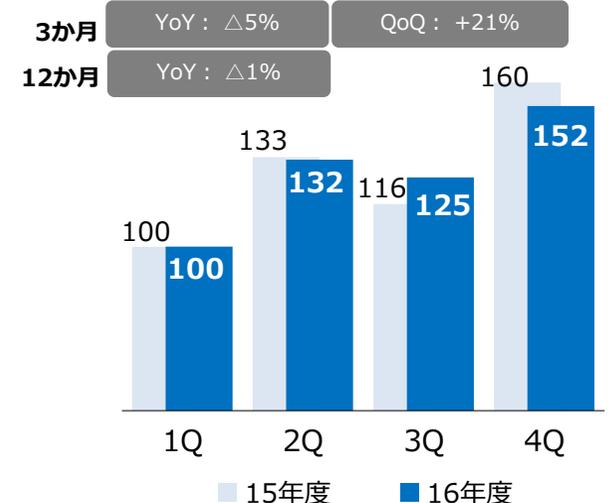
■ カラープロダクションプリント 販売台数\*



■ モノクロプロダクションプリント販売台数



■ プロダクションプリント トータル販売台数





## ノンハード売上高・ノンハード比率

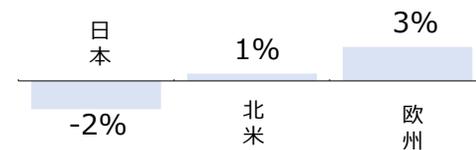
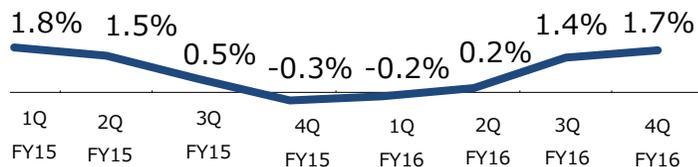
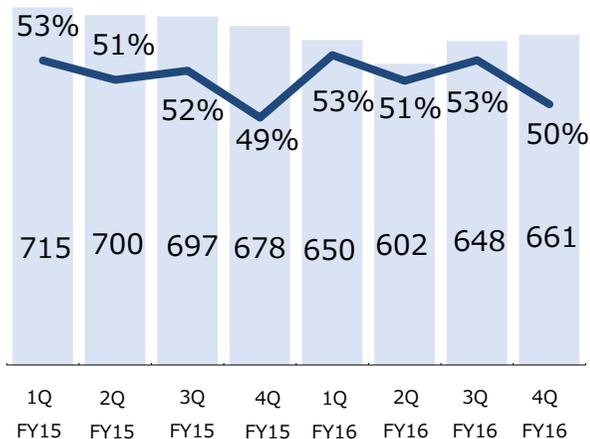
## ノンハード売上高前年伸長率

(為替影響除く)

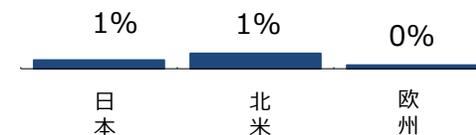
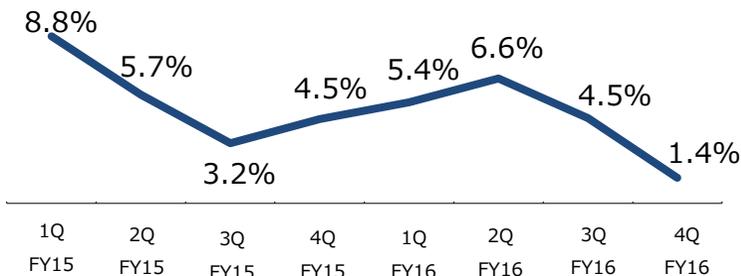
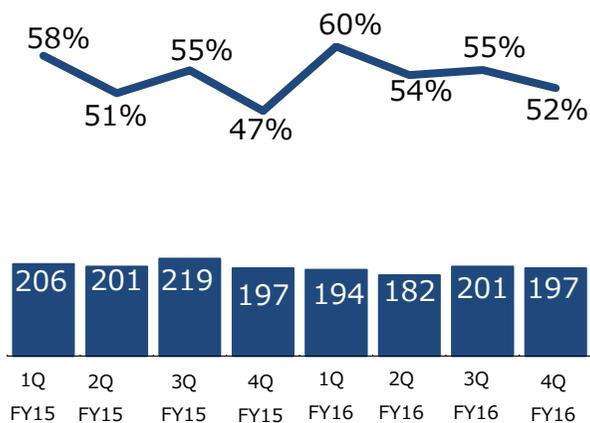
### オフィスプロダクト

【対前年同期】

【地域別】



### プロダクションプリント



【億円】

# 主な通貨の為替レートと収益影響度

(為替レート：円)

	15年度	16年度	対前年影響額		15年度	16年度	対前年影響額		為替感応度*2	
	4Q	4Q	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	通期	通期	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 (億円)	営業利益 (億円)
米ドル	115.48	113.64	△ 16	+ 2	120.14	108.38	△ 347	+ 11	+ 30	△ 1
ユーロ	127.23	121.08	△ 30	△ 25	132.58	118.79	△ 232	△ 172	+ 19	+ 8
ポンド	165.29	140.80	△ 22	+ 0	181.31	141.60	△ 138	△ 5	+ 4	+ 1
欧州通貨*1	-	-	△ 56	△ 25	-	-	△ 425	△ 179	+ 27	+ 12
人民元	17.61	16.57	△ 6	△ 0	18.85	16.11	△ 69	△ 9	+ 25	+ 5
豪ドル	83.22	86.16	+ 3	+ 0	88.44	81.56	△ 29	△ 7	+ 4	+ 1
その他通貨	-	-	△ 0	△ 0	-	-	△ 49	△ 11	-	-
対前年影響額 合計			売上高:	△ 76			売上高:	△ 918	営業利益:	△ 196
			営業利益:	△ 23			営業利益:	△ 196		

\*1欧州通貨：ユーロ/ポンド以外の欧州通貨も含む

\*2為替感応度：1円変動時の影響額（年間）

# 2016年度セグメント別為替影響度

【億円】

		売上高					営業利益				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
情報機器	実績	1,863	1,843	1,916	2,095	7,717	133	128	120	149	530
	前年比	△ 155	△ 231	△ 153	△ 66	△ 605	1	△ 83	△ 46	△ 45	△ 172
	為替影響	△ 215	△ 323	△ 225	△ 69	△ 833	△ 29	△ 72	△ 57	△ 22	△ 179
	除く為替	61	91	73	3	228	29	△ 11	11	△ 23	7
ヘルスケア	実績	185	229	220	266	899	2	10	3	14	29
	前年比	6	6	△ 0	△ 10	1	1	△ 3	△ 5	△ 3	△ 10
	為替影響	△ 13	△ 20	△ 14	△ 3	△ 51	△ 4	△ 7	△ 5	△ 2	△ 18
	除く為替	19	26	14	△ 7	52	5	4	△ 0	△ 1	7
産業用 材料・機器	実績	217	224	214	239	894	23	24	97	42	186
	前年比	△ 65	△ 56	△ 41	△ 3	△ 166	△ 35	△ 22	69	4	15
	為替影響	△ 9	△ 13	△ 10	△ 3	△ 35	△ 3	△ 1	△ 1	0	△ 5
	除く為替	△ 55	△ 43	△ 32	△ 0	△ 131	△ 33	△ 21	70	4	20

# 新中計スタートに伴うセグメント開示変更

現行セグメント	
情報機器事業	オフィスサービス ■ ITサービス・ソリューション ■ オフィスプロダクツ
	商業・産業印刷 ■ 産業印刷・インクジェット ■ MPM・プリントサービス ■ プロダクションプリント
ヘルスケア事業	■ デジタル (CR / DR / IT) ■ アナログ他
産業用材料 ・ 機器事業	産業用光学システム ■ 計測機器 ■ 産業・プロ用レンズ ■ その他
	機能材料
コーポレート他	



新セグメント	
オフィス事業	■ ITサービス・ソリューション ■ オフィスプロダクツ
プロフェッショナル プリント事業	■ 産業印刷 ■ マーケティングサービス ■ プロダクションプリント
ヘルスケア 事業	■ 画像診断 ■ 医療IT ■ その他 (仕入商材)
産業用材料 ・ 機器事業	産業用光学システム ■ 計測機器 ■ 映像ソリューション
	材料・コンポーネント ■ 機能材料 (+OLED・素材) ■ 光学コンポーネント ■ IJコンポーネント
新規事業・コーポレート他	
■ 基盤事業    ■ 成長事業    ■ 新規事業	

**OPIS: Optimized Print Services (情報機器事業-オフィスサービス分野)**

当社Managed print service(MPS)の呼び名。プリント環境最適化で、コスト削減/効率性向上を図るサービス提供。

**GMA: Global Major GMA: Global Major Account (情報機器事業)**

世界的規模の大手企業顧客 (向けビジネス) のことをいう。

**MPM: Marketing Production Management (情報機器事業-商業・産業印刷分野)**

販促物のサプライチェーン(デザイン/印刷/発送/在庫管理)最適化を目指すサービス。2012/12にCharterhouse買収。

**DR: Digital Radiography (ヘルスケア事業)**

デジタルX線ともいう。レントゲン撮影時のX線強度分布をデジタル変換処理を加えてデータ化する手法/システム。

**PACS: Picture Archiving and Communication System (ヘルスケア事業)**

医療画像処理における画像保存通信システムのこと。DRやCR等のX線写真やCT、MRIなど大量の画像を管理するシステムの総称。

**ZeroTAC: (産業用材料・機器事業-機能材料分野)**

位相差をゼロにしたTACフィルム。IPS型ディスプレイに主に使われ、視認性を上げる特徴を持つ。

**OLED: Organic Light Emitting Diode (産業用材料・機器事業-パフォーマンスマテリアル)**

有機EL (有機エレクトロルミネッセンス) ともいう。電圧をかけると有機物が光る現象を使って照明やディスプレイ製品などに応用されている。

**SPFS: Surface Plasmon Field-enhanced Fluorescence Spectroscopy (ヘルスケア事業)**

免疫検査システム。抗原抗体反応により捕捉された標識蛍光分子を、金膜極表面に誘起された局在電場により極めて効率的に励起し、その蛍光シグナルを検出する方法。

**MEMSヘッド: Micro Electro Mechanical Systems print head (IJコンポーネント)**

半導体作成などで応用されるMEMS技術により加工された高精細インクジェットヘッド



**KONICA MINOLTA**

- 本資料の記載情報

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

- 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。